

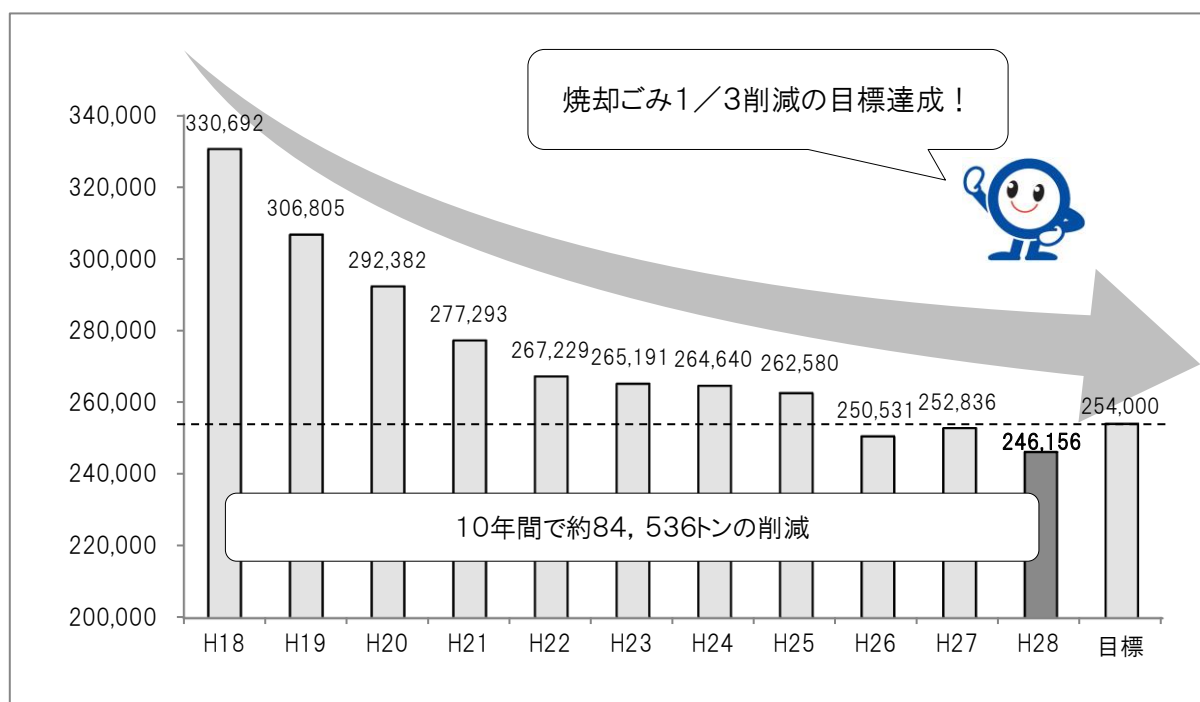


家庭ごみ手数料徴収制度導入（3年目）の結果のお知らせ

市では、平成19年度より、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組み、年間の焼却ごみ量を25万4,000トンまで減らすことを目標としてきました。

これまで進めてきた焼却ごみ削減のための取り組みを、さらに一步先へ進めるため、平成26年2月1日から家庭ごみ手数料徴収制度（以下、「制度」といいます。）を導入しました。

市民のみなさまにごみ減量に取り組んでいただいた結果、平成26年度以降、焼却ごみ量が25万4,000トンを下回っていることから、平成29年3月末に老朽化した北谷津清掃工場の操業を終了し、平成29年度から3用地2清掃工場運用体制へ移行しました。



以下では、平成25年2月から平成26年1月までを**制度導入前**、平成27年2月から平成28年1月までを**制度導入後2年目**、平成28年2月から平成29年1月までを**制度導入後3年目**として、ごみ量等の推移をまとめています。

1 焼却ごみ量

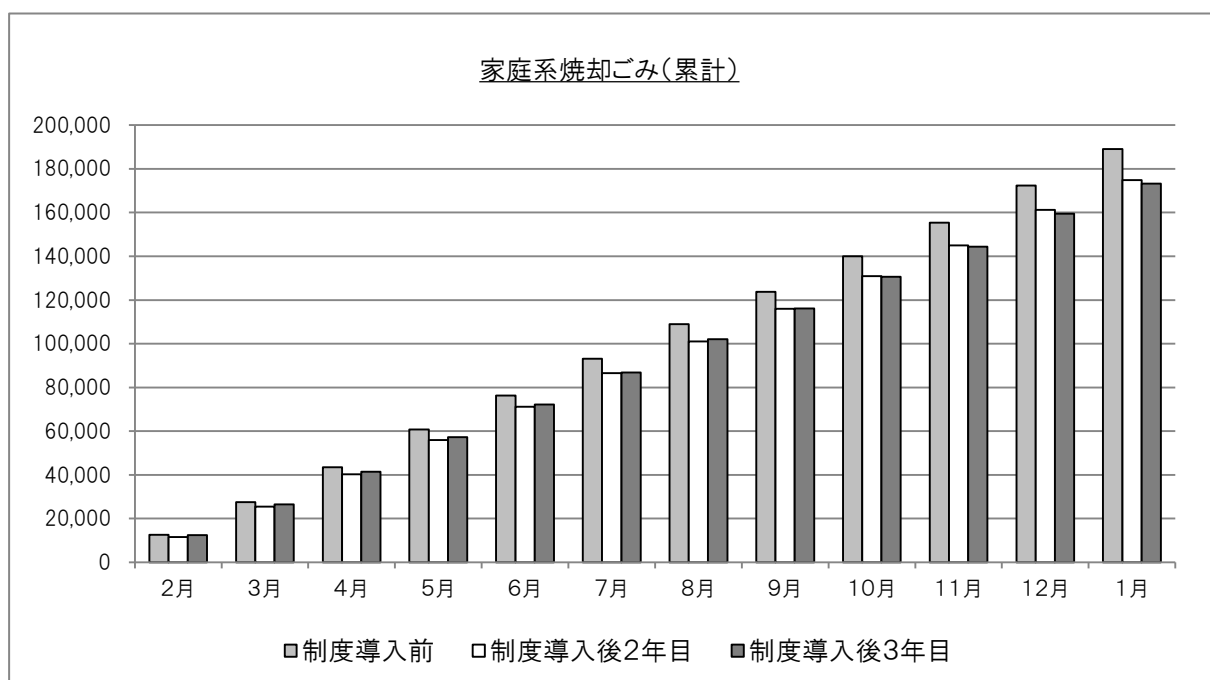
(1) 家庭系焼却ごみ量

制度導入後3年目の家庭系焼却ごみ量は173,237トンであり、制度導入後2年目と比較すると、1,678トン(1.0%)減少し、制度導入前と比較すると、15,792トン(8.4%)減少しています。

(単位：トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	12,588	14,893	15,993	17,229	15,647	16,833
制度導入後2年目	11,608	13,802	14,850	15,713	15,208	15,338
制度導入後3年目	12,378	14,178	14,868	15,889	14,843	14,694
前年比	770	376	18	176	▲ 365	▲ 644
導入前比	▲ 210	▲ 715	▲ 1,125	▲ 1,340	▲ 804	▲ 2,139

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	15,715	14,830	16,269	15,336	16,999	16,697	189,029
制度導入後2年目	14,548	14,942	14,959	13,974	16,217	13,756	174,915
制度導入後3年目	15,265	14,000	14,461	13,880	15,068	13,713	173,237
前年比	717	▲ 942	▲ 498	▲ 94	▲ 1,149	▲ 43	▲ 1,678
導入前比	▲ 450	▲ 830	▲ 1,808	▲ 1,456	▲ 1,931	▲ 2,984	▲ 15,792



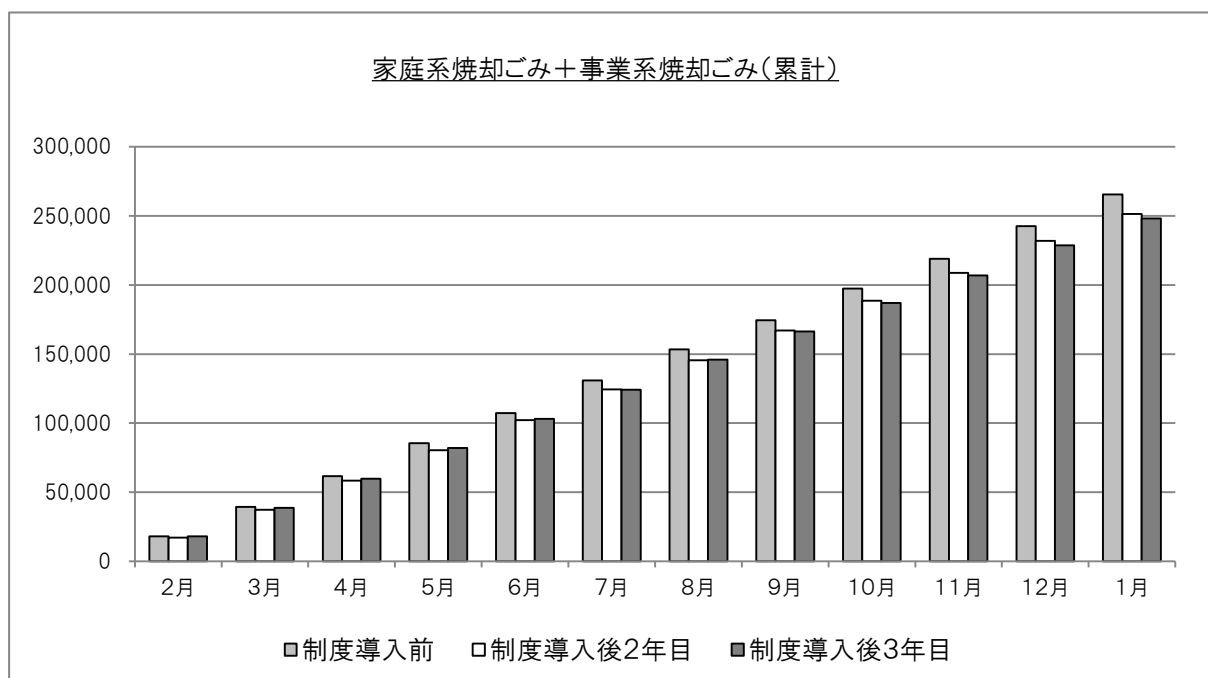
(2) 焼却ごみ量合計 (家庭系焼却ごみ量+事業系焼却ごみ量)

制度導入後3年目の焼却ごみ量合計は248,119トンであり、制度導入後2年目と比較すると、3,303トン(1.3%)減少し、制度導入前と比較すると、17,375トン(6.5%)減少しています。

(単位:トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	18,054	21,280	22,403	23,676	21,877	23,690
制度導入後2年目	17,050	20,224	21,113	22,075	21,800	22,187
制度導入後3年目	18,133	20,555	21,063	22,258	21,136	21,030
前年比	1,083	331	▲ 50	183	▲ 664	▲ 1,157
導入前比	79	▲ 725	▲ 1,340	▲ 1,418	▲ 741	▲ 2,660

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	22,332	21,102	22,896	21,583	23,785	22,816	265,494
制度導入後2年目	21,173	21,427	21,536	20,197	23,087	19,553	251,422
制度導入後3年目	21,891	20,254	20,693	19,928	21,668	19,510	248,119
前年比	718	▲ 1,173	▲ 843	▲ 269	▲ 1,419	▲ 43	▲ 3,303
導入前比	▲ 441	▲ 848	▲ 2,203	▲ 1,655	▲ 2,117	▲ 3,306	▲ 17,375



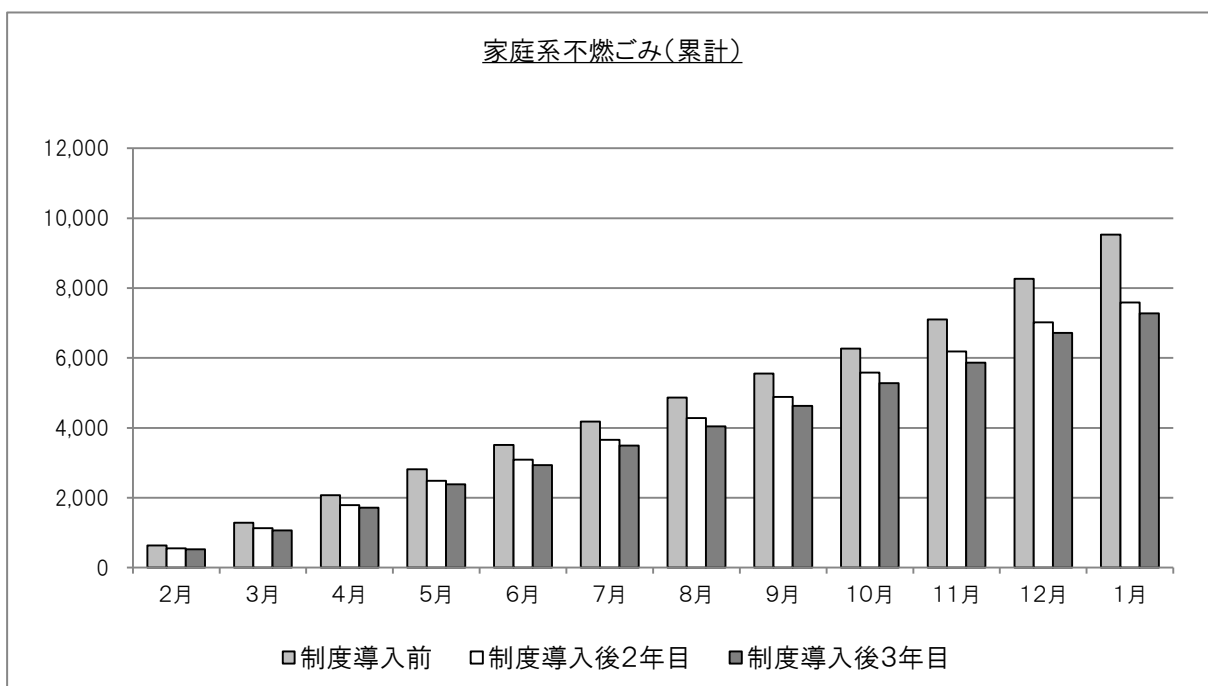
2 家庭系不燃ごみ量

制度導入後3年目の家庭系不燃ごみ量は7,279トンであり、制度導入後2年目と比較すると、304トン(4.0%)減少し、制度導入前と比較すると、2,253トン(23.6%)減少しています。

(単位：トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	634	650	788	742	698	667
制度導入後2年目	555	579	652	700	603	569
制度導入後3年目	529	535	654	665	552	554
前年比	▲ 26	▲ 44	2	▲ 35	▲ 51	▲ 15
導入前比	▲ 105	▲ 115	▲ 134	▲ 77	▲ 146	▲ 113

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	684	690	719	828	1,167	1,265	9,532
制度導入後2年目	622	604	697	606	830	566	7,583
制度導入後3年目	550	590	652	587	850	561	7,279
前年比	▲ 72	▲ 14	▲ 45	▲ 19	20	▲ 5	▲ 304
導入前比	▲ 134	▲ 100	▲ 67	▲ 241	▲ 317	▲ 704	▲ 2,253



3 古紙・布類の収集量

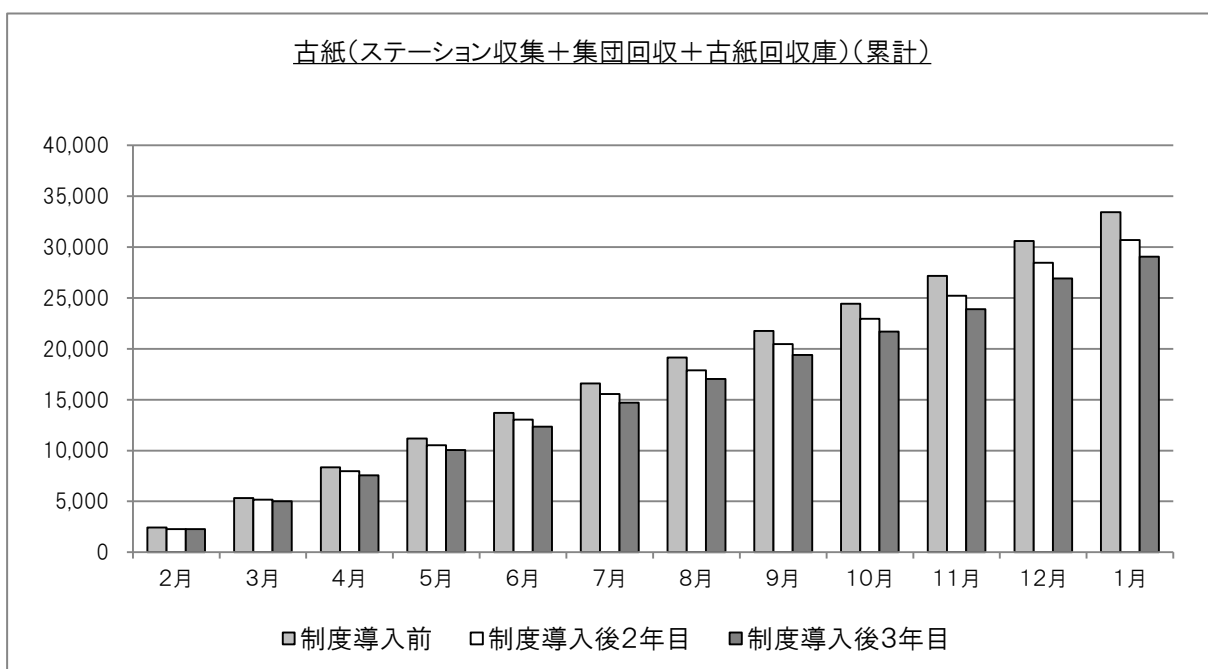
(1) 古紙の収集量（ステーション収集＋集団回収＋古紙回収庫）

制度導入後3年目の古紙の収集量は29,062トンであり、制度導入後2年目と比較すると、1,613トン（5.3%）減少し、制度導入前と比較すると、4,353トン（13.0%）減少しています。

（単位：トン）

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	2,423	2,912	3,023	2,817	2,518	2,898
制度導入後2年目	2,289	2,898	2,782	2,553	2,503	2,529
制度導入後3年目	2,280	2,722	2,556	2,487	2,311	2,336
前年比	▲ 9	▲ 176	▲ 226	▲ 66	▲ 192	▲ 193
導入前比	▲ 143	▲ 190	▲ 467	▲ 330	▲ 207	▲ 562

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	2,558	2,592	2,683	2,731	3,426	2,834	33,415
制度導入後2年目	2,331	2,565	2,498	2,266	3,221	2,240	30,675
制度導入後3年目	2,352	2,354	2,285	2,194	3,034	2,151	29,062
前年比	21	▲ 211	▲ 213	▲ 72	▲ 187	▲ 89	▲ 1,613
導入前比	▲ 206	▲ 238	▲ 398	▲ 537	▲ 392	▲ 683	▲ 4,353



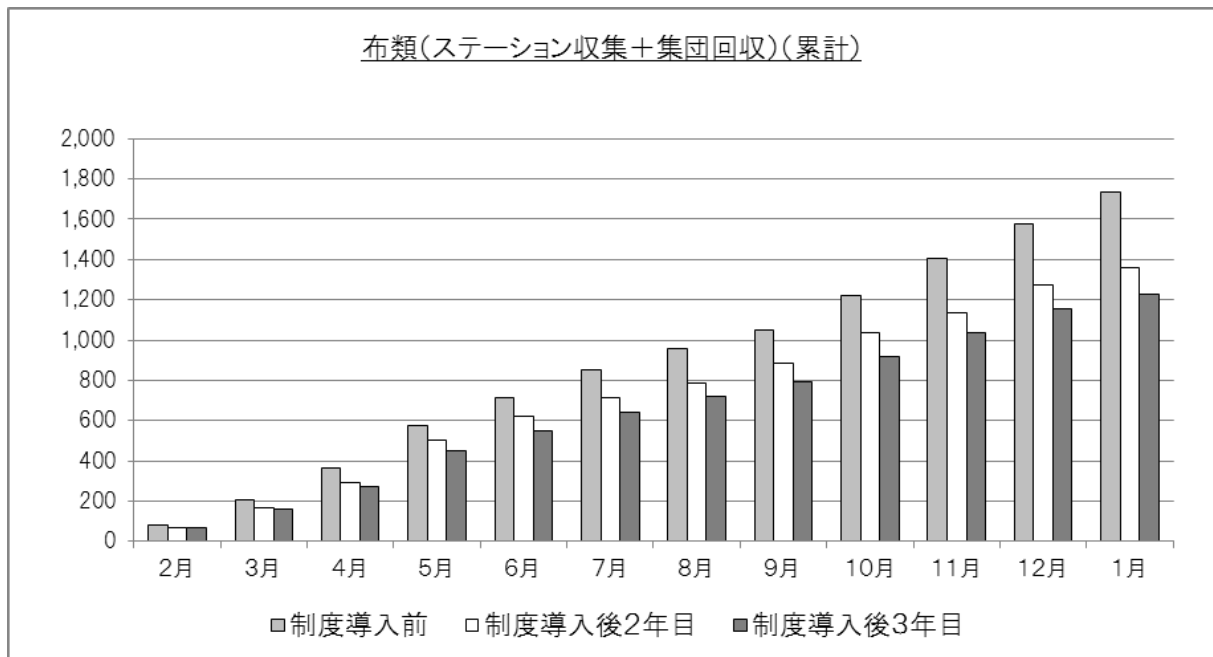
(2) 布類の収集量 (ステーション収集+集団回収)

制度導入後3年目の布類の収集量は1,229トンであり、制度導入後2年目と比較すると、129トン(9.5%)減少し、制度導入前と比較すると、504トン(29.1%)減少しています。

(単位:トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	83	122	158	210	140	138
制度導入後2年目	65	99	129	207	123	91
制度導入後3年目	70	87	117	175	103	90
前年比	5	▲ 12	▲ 12	▲ 32	▲ 20	▲ 1
導入前比	▲ 13	▲ 35	▲ 41	▲ 35	▲ 37	▲ 48

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	104	93	172	184	171	158	1,733
制度導入後2年目	75	96	149	104	139	81	1,358
制度導入後3年目	77	72	130	114	120	74	1,229
前年比	2	▲ 24	▲ 19	10	▲ 19	▲ 7	▲ 129
導入前比	▲ 27	▲ 21	▲ 42	▲ 70	▲ 51	▲ 84	▲ 504



4 びん・缶・ペットボトルの収集量

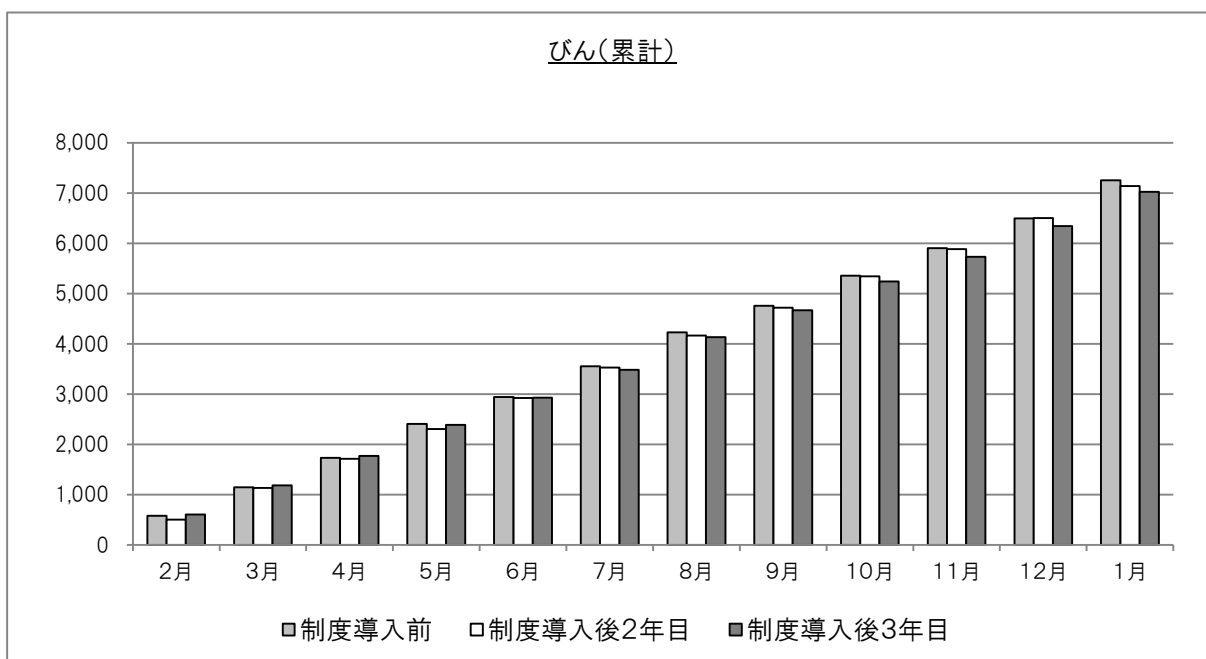
(1) びんの収集量

制度導入後3年目のびんの収集量は7,022トンであり、制度導入後2年目と比較すると、120トン(1.7%)減少し、制度導入前と比較すると、231トン(3.2%)減少しています。

(単位：トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	577	567	587	679	532	611
制度導入後2年目	505	626	580	597	618	599
制度導入後3年目	603	580	589	619	538	553
前年比	98	▲ 46	10	21	▲ 80	▲ 46
導入前比	26	14	3	▲ 60	6	▲ 58

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	675	530	600	546	591	759	7,253
制度導入後2年目	641	556	623	536	619	642	7,142
制度導入後3年目	649	539	569	494	611	678	7,022
前年比	8	▲ 17	▲ 55	▲ 42	▲ 7	36	▲ 120
導入前比	▲ 26	9	▲ 31	▲ 52	20	▲ 81	▲ 231



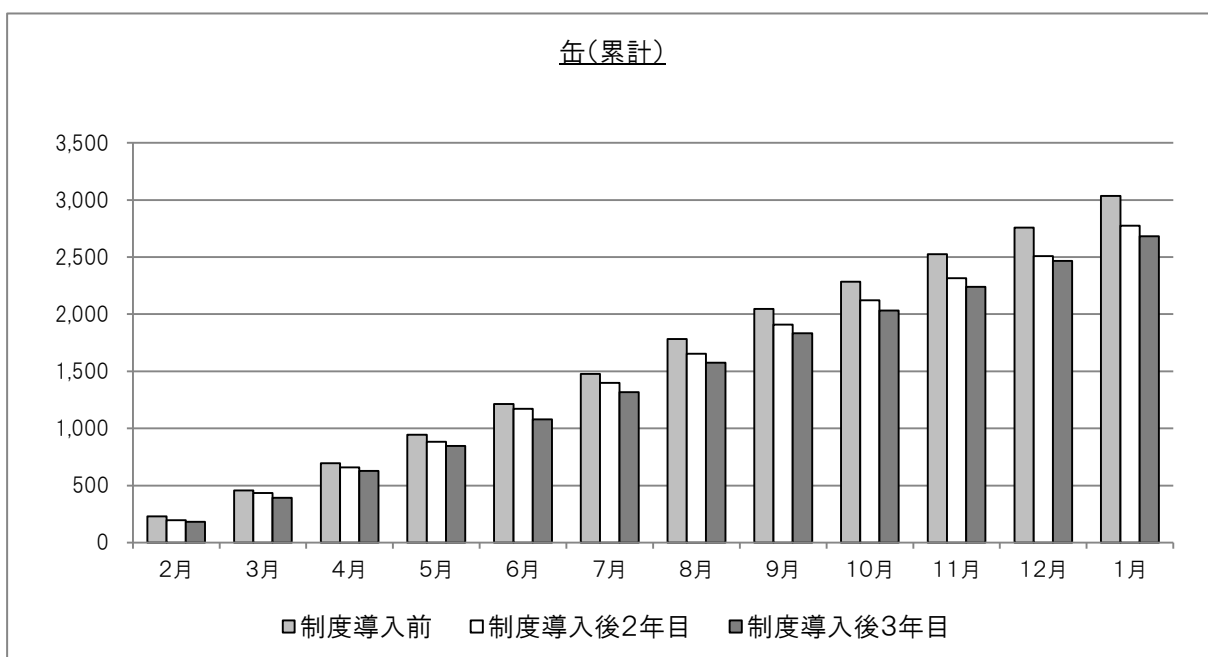
(2) 缶の収集量

制度導入後3年目の缶の収集量は2,682トンであり、制度導入後2年目と比較すると、94トン(3.4%)減少し、制度導入前と比較すると、353トン(11.6%)減少しています。

(単位：トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	230	227	239	249	269	263
制度導入後2年目	196	237	226	225	289	226
制度導入後3年目	183	210	234	220	232	240
前年比	▲ 13	▲ 27	8	▲ 5	▲ 57	14
導入前比	▲ 47	▲ 17	▲ 5	▲ 28	▲ 37	▲ 23

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	305	265	239	239	233	277	3,035
制度導入後2年目	255	255	214	194	192	268	2,776
制度導入後3年目	257	257	199	207	227	216	2,682
前年比	1	2	▲ 14	13	35	▲ 52	▲ 94
導入前比	▲ 48	▲ 8	▲ 39	▲ 31	▲ 6	▲ 61	▲ 353



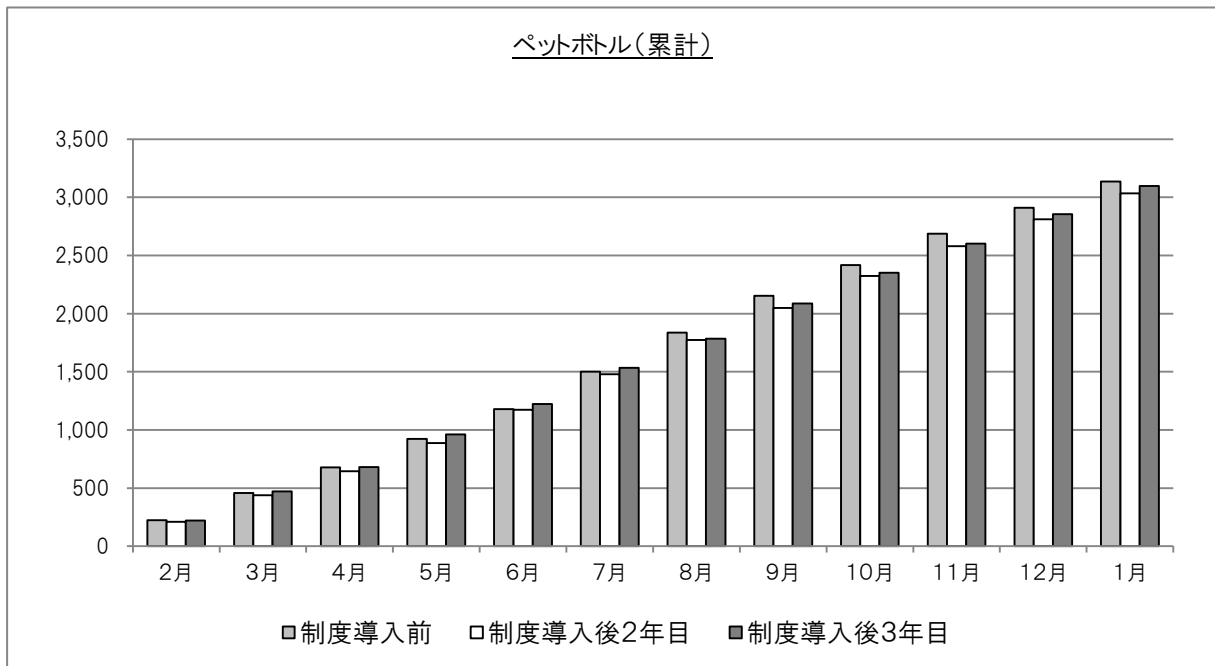
(3) ペットボトルの収集量

制度導入後3年目のペットボトルの収集量は3,099トンであり、制度導入後2年目と比較すると、64トン(2.1%)増加していますが、制度導入前と比較すると、36トン(1.1%)減少しています。

(単位：トン)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
制度導入前	224	233	222	245	256	322
制度導入後2年目	211	228	208	242	285	307
制度導入後3年目	222	250	210	279	263	310
前年比	11	22	2	37	▲22	2
導入前比	▲2	17	▲12	34	7	▲13

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
制度導入前	335	315	267	268	225	224	3,135
制度導入後2年目	294	274	276	255	233	223	3,035
制度導入後3年目	252	302	264	251	252	243	3,099
前年比	▲42	28	▲11	▲4	19	21	64
導入前比	▲82	▲13	▲3	▲17	28	20	▲36

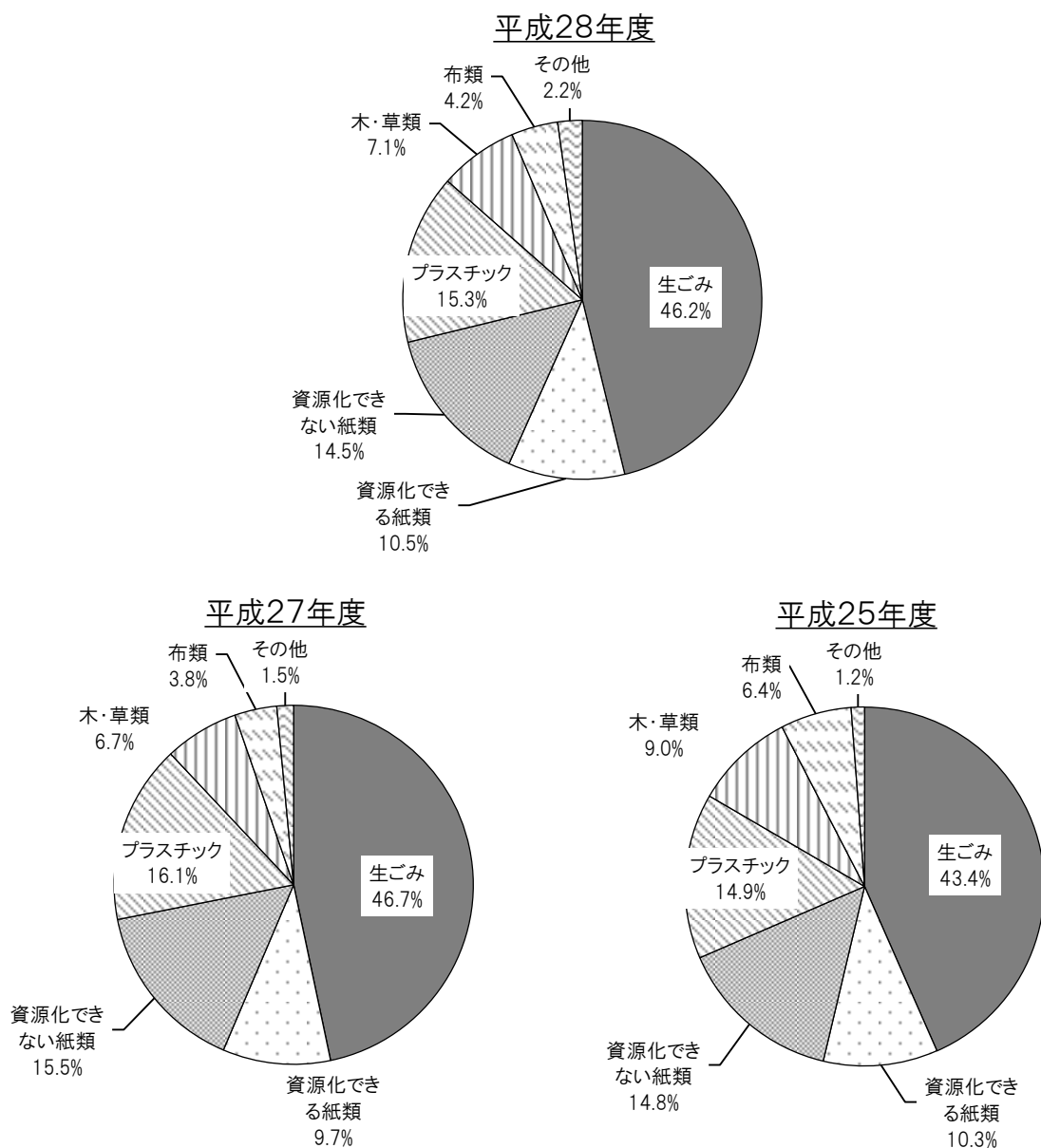


5 家庭系可燃ごみ組成

夏季（7月、8月）と冬季（1月）に分けて市内3か所の清掃工場（平成29年3月末に操業を終了した北谷津清掃工場を含む）に搬入されたごみ収集車から、家庭系可燃ごみを採取し、種類とその割合を調査しました。

平成28年度の家庭系可燃ごみ組成では、平成25年度と比較すると、可燃ごみに含まれる「資源化できない紙類」、「木・草類」及び「布類」の割合が減少しています。

	生ごみ	資源化できる紙類	資源化できない紙類	プラスチック	木・草類	布類	その他
制度導入前	43.4%	10.3%	14.8%	14.9%	9.0%	6.4%	1.2%
制度導入後2年目	46.7%	9.7%	15.5%	16.1%	6.7%	3.8%	1.5%
制度導入後3年目	46.2%	10.5%	14.5%	15.3%	7.1%	4.2%	2.2%
前年比	▲ 0.5pt	0.8pt	▲ 1.0pt	▲ 0.8pt	0.4pt	0.4pt	0.7pt
導入前比	2.8pt	0.2pt	▲ 0.3pt	0.4pt	▲ 1.9pt	▲ 2.2pt	1.0pt



6 手数料の使途

家庭ごみ手数料収入は、粗大ごみ手数料収入等とともにリサイクル等推進基金に積み立て、市民・事業者等へのリサイクルの啓発事業やリサイクル活動の支援事業など、ごみ減量やリサイクルの推進に関する事業に活用しています。

(単位：千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
基金総額	791,063	1,537,452	1,883,107	2,392,799
基金の積立額	672,428	1,447,936	1,422,278	1,438,472
家庭ごみ手数料収入	488,141	1,290,748	1,262,575	1,272,008
粗大ごみ手数料収入	183,608	156,618	159,247	166,040
小型家電電子機器類売払い	—	—	—	117
廃食油売払い	—	—	—	3
運用利子	97	87	378	90
寄付金	582	483	79	214
前年度末残高	118,635	89,517	460,829	954,327
繰出金	701,546	1,076,623	928,780	882,837
家庭ごみ手数料徴収運営	544,580	864,769	654,598	561,452
ごみ減量の推進	52,095	194,126	257,739	304,188
粗大ごみの収集	103,843	15,466	15,705	15,549
ボランティア清掃活動の支援	1,028	2,262	738	1,648
単年度収支	▲ 29,118	371,313	493,498	555,635
当該年度末残高	89,516	460,829	954,327	1,509,962

【平成28年度支出内訳】

家庭ごみ手数料徴収運営 5億6,145万2千円

- ・ 指定袋の製造・保管・管理等
 - ・ 手数料収納業務
 - ・ 紙おむつ等使用世帯への指定袋無料配布
 - ・ 資源物、不燃・有害ごみの祝日収集
 - ・ 高齢者等のごみ出し支援事業
 - ・ ごみステーション管理支援
 - ・ 使用済小型家電の拠点回収
 - ・ 不法投棄・不適正排出対策
- など

ごみ減量の推進 3億418万8千円

- ・ 剪定枝等循環システムモデル事業
 - ・ 生ごみ減量処理機・肥料化容器購入助成
 - ・ 牛乳パックを活用した肥料化講習会
 - ・ 生ごみ分別収集特別地区事業
 - ・ 剪定枝チップ機貸出事業
 - ・ 生ごみ資源化アドバイザー養成・派遣
 - ・ ちばルール協定店と連携したPR
 - ・ 未就学児・若年層向け啓発
 - ・ ごみ分別スクール
 - ・ エコレシピ講習会
 - ・ 広報紙・啓発品の製作
 - ・ 廃食油（使用済み天ぷら油など）の資源回収
 - ・ 家庭ごみの減量と出し方ガイドブック等製作
 - ・ 古紙・布類の分別収集・集団回収
- など

粗大ごみの収集 1,554万9千円

- ・ 手数料納付券製作・管理
- ・ 手数料収納業務

ボランティア清掃活動の支援 164万8千円

- ・ ごみ袋及び清掃用具の支援



7 まとめ

制度導入後3年目の家庭系ごみ量は、制度導入後2年目と比較すると、焼却ごみ量が1,678トン(1.0%)減少、不燃ごみ量が304トン(4.0%)減少し、制度導入前と比較すると、焼却ごみ量が15,792トン(8.4%)減少、不燃ごみ量が2,253トン(23.6%)減少しており、引き続き制度導入による家庭ごみ削減の効果があったと考えられます。

なお、家庭系焼却ごみ量と事業系焼却ごみ量を合わせた、平成28年度の年間総焼却ごみ量は、246,156トンとなっており、25万トンを下回りました。

資源物については、制度の導入により、ごみの分別徹底が進み、収集量が増加することを見込んでいましたが、制度導入後2年目に引き続き、制度導入前と比較して、資源物の収集量は減少しています。理由として、制度の導入により、ごみの排出抑制と分別意識が高まったことに加え、毎日排出することができるスーパーなどの小売店舗による店頭回収や、リサイクル業者による戸別回収など、独自のリサイクルルートが増え、資源物の排出先が変化したため、市で収集する資源物の量に影響を与えたと考えられます。

8 今後の方針

制度の導入により、家庭ごみの削減については、一定の効果があったものと評価できますが、3用地2清掃工場運用体制における安定的なごみ処理体制の構築に向け、さらなるごみ減量の推進、リサイクル施策の実施を進めていきます。

排出抑制が難しい剪定枝等への対策として、剪定枝等循環システムモデル事業(平成27年度:2地区・約1,600世帯、平成28年度:中央区・約10,000世帯)の検証結果を踏まえ、剪定枝等再資源化事業を実施します。中央区で平成29年4月から、若葉区・緑区で平成29年9月から、花見川区・稲毛区・美浜区で平成30年2月から、月に2回、家庭から出る木の枝・刈り草・葉を資源として収集し、燃料チップや敷料にリサイクルします。

家庭系可燃ごみ組成の調査結果をみると、生ごみの占める割合が大きくなっていることから、生ごみの減量・再資源化をさらに促進することで、効果的に可燃ごみを減らすことができると考えられます。特に、平成27年度より取組みを進めている、食品ロス(生ごみに多く含まれている、本来食べられるのに捨てられているもの)の削減については、飲食イベント及び市内ホテル等と協働した「食べきりキャンペーン」や、調理の際に無駄なく食材を使うエコレシピ料理講習会などにより啓発を行っており、今後も継続して実施することで、食品ロス削減の意識の浸透を図ります。また、食品ロス以外の生ごみについても、引き続き、水切りの普及啓発や生ごみ減量処理機等の購入助成などにより減量・再資源化を推進するとともに、さらなる生ごみの減量・再資源化に向けた新しい施策を検討していきます。

あわせて、市民のみなさまにごみの減量・分別の徹底に一層取り組んでいただくため、引き続き、各種講習会や広報等を行っていきます。